

## 授業科目 体力測定評価実習 II

【担当教員名】 永野 康治		対象学年	3	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 アスレティックトレーナーとして必要とされる検査、測定方法およびその評価方法について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. アスレティックトレーナーに必要な検査、測定の内容を理解する。 2. 検査、測定を正確に行うことができる。 3. 検査、測定の結果を統合し、評価を行うことができる。 4. 評価の結果を適切な形でフィードバックすることができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、情報収集について			1	実習、レポート
2	姿勢・アライメントの計測・測定			2,3	実習、レポート
3	身体周径、長さの計測・測定			2,3	実習、レポート
4	関節弛緩性の検査・測定			2,3	実習、レポート
5	関節可動域計測の基礎			2,3	実習、レポート
6	関節可動域の検査・測定：上肢			2,3	実習、レポート
7	関節可動域の検査・測定：下肢			2,3	実習、レポート
8	筋タイトネスの検査・測定			2,3	実習、レポート
9	筋力の検査・測定 上肢			2,3	実習、レポート
10	筋力の検査・測定 体幹			2,3	実習、レポート
11	筋力の検査・測定 下肢			2,3	実習、レポート
12	歩行・走行の評価			2,3	実習、レポート
13	スポーツ動作の評価			2,3	実習、レポート
14	検査・測定結果の評価			3,4	実習、レポート
15	まとめ			1	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5：検査・測定と評価	財団法人 日本体育協会	財団法人 日本体育協会	
参考書		新・徒手筋力検査法	津山 直一（翻訳）	協同医書	2008・7,875円
その他の資料					
【評価方法】 出席、レポート：30 期末レポート：30 定期試験：40			【履修上の留意点】 授業は実習を行い、そのレポートを毎回提出する形式で行う。 すべての評価項目を網羅する必要があるため、欠席者は各自補習を行う必要がある。		